

# 建築士の私たちができること 学校教育における 住居学

高校生が必修で学ぶ家庭科において、「住居分野」は自らの将来を設計する上で重要な位置づけとされている。生徒にも人気の領域科目となっているなか  
現在、住居分野を専門とする教諭は少ないという。

将来を担う学生に、住居という観点から、安全、安心、文化を伝えていけるのは  
私たち建築士ではないだろうか。

元高校教諭、現在たたみ小物作家の佐々木由紀さんをお迎え「高校生の持つ住居観」など  
事例と共に、私たちができる「出前授業」「行政コラボ」など  
実践活動に繋げていくためのディスカッションを行う。

## 5月19日 日曜 開港記念会館9号室

1時限目 13:30~14:30：住居学への展望 ディスカッション

2時限目 14:45~16:15：畳縁で作る小物ワークショップ

【場所・日時】 横浜開港記念会館 2階 9号室 13:20 受付

【参加費】 会員：2,500円 畳縁材料費含む

非会員：3,000円

【持ち物】 使い慣れた針とハサミ

リップクリームや小瓶（畳縁の折り曲げに使用）

【参加方法】 Peatixより申し込み 定員 50名

<https://kenchiku032jyukyo.peatix.com>

Peatixに対応できない方は下記までお問合せください

【問合せ】 josei@kanagawa-kentikusikai.com 女性委員会担当：安藤



佐々木由紀

元高校教員（家庭・保健）家政学修士、  
管理栄養士

1993年より神奈川県立高等学校教職員  
として4校勤務。「教えるよりも作りたい」  
という気持ちが強くなり2022年早期退職。  
現在は個人事業主として衣料品および  
衣料小物を作成・販売中。

